

- 問1 シベリア出兵の影響などにより米価が急騰し、全国規模で発生した暴動を何という？
- 問2 大正末期から昭和初期にかけて、立憲民政党とともに二大政党制を形作り、交代で政権を担当した政党は何？
- 問3 大正時代初期、特定の藩出身者が政治を独占する仕組みを批判して起こった政治的な動きを何という？
- 問4 雑誌『青鞥』を創刊し、日本での女性解放運動の先駆けとなった人物は誰？
- 問5 大正時代初期の護憲運動によって退陣に追い込まれた、当時の首相は誰？
- 問6 1918年に全国で発生し、原敬内閣誕生のきっかけとなった出来事を何という？
- 問7 1922年に結成され、小作料の引き下げなどを求めて活動した農民団体の組織を何という？
- 問8 雑誌『青鞥』の創刊号で、女性の目覚めを象徴する言葉として使われた天体は何？
- 問9 第一次世界大戦後、国際平和維持のための国際連盟設立を提唱したアメリカの大統領は誰？
- 問10 1925年に制定され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられるようになった法律を何という？
- 問11 ワシントン会議で四カ国条約が結ばれたことに伴い、日本とイギリスの間で廃止された同盟を何という？
- 問12 シベリア出兵の際、日本とともに軍隊を派遣した国はどこ？
- 問13 藩閥政治を批判し、憲政の擁護を掲げて行われた運動を何という？
- 問14 ウィルソン大統領が設立を提唱した、世界で初めての国際平和維持組織を何という？
- 問15 米騒動のあとに首相となり、平民宰相と呼ばれた政治家は誰？
- 問16 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？
- 問17 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？
- 問18 第一次世界大戦後、パリ講和会議で「民族自決」の原則を提唱した人物は誰？
- 問19 第一次世界大戦中、日本がドイツの権益を奪う目的で参戦する根拠となった、日本とイギリスが結んでいた同盟を何という？
- 問20 大正時代、自由主義や民主主義を求める風潮の中で、政治・社会・文化の各分野において民主化が推進された動きを何という？
- 問21 第一次世界大戦後、イギリスの植民地支配に対して非暴力・不服従の独立運動が起こった国はどこ？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>米騒動</b>	1918年、富山県の漁村から始まった主婦を中心とする「米を安く売れ」という運動は、瞬く間に全国へと広がりました。多くの人々が米屋や豪商を襲撃する暴動に発展し、軍隊が出動するほどの事態となりました。この混乱は、当時の寺内正毅内閣の退陣を決定づける要因となりました。
問2	<b>答え</b> <b>立憲政友会</b>	立憲政友会は、伊藤博文を創設者とする保守的な性格の政党であり、原敬らを輩出しました。大正末期から昭和初期にかけては、対抗馬である立憲民政党と交互に政権を担う「憲政の常道」と呼ばれる時期を築きました。各政党が選挙で競い合い、政権交代を行う仕組みが定着し続けていました。
問3	<b>答え</b> <b>藩閥政治</b>	藩閥政治とは、特定の藩出身者が長期にわたって政府の要職を固める政治体制のことです。大正時代に入ると、これに対する国民の批判が強まり、「憲政擁護」を掲げて、憲法に基づいた政党中心の政治を求める運動（第一次護憲運動）が発生しました。
問4	<b>答え</b> <b>平塚らいてう</b>	平塚らいてうは、1911年に女性だけの手による文芸雑誌『青鞥』を創刊しました。創刊号の宣言文にある「元始、女性は太陽であった」という言葉は有名で、女性の目覚めと自立を力強く訴えました。当時の厳しい社会的制約の中で、女性が自身の力で生きる権利を主張し、日本における近代的な女性運動の先駆けとなりました。
問5	<b>答え</b> <b>桂太郎</b>	桂太郎は、軍部や官僚機構を背景にした典型的な藩閥政治家でした。しかし、大正時代の始まりとともに、「閥族打破・憲政擁護」を唱える民衆や政党の激しい批判にさらされ、わずか数ヶ月で内閣を総辞職することになりました（大正政変）。
問6	<b>答え</b> <b>米騒動</b>	富山県から始まった米の買い占めに反対する運動は、瞬く間に全国へ広がりました。米屋や政府の対応に対する国民の不満が爆発し、商店が襲撃される事件へと発展しました。この出来事の結果、当時の寺内正毅内閣は退陣を余儀なくされました。
問7	<b>答え</b> <b>日本農民組合</b>	賀川豊彦らが中心となって結成した日本農民組合は、日本初の全国的な農民運動組織です。地主に対して団結して交渉を行うことで、農民の権利を守ろうとしました。各地で小作争議が頻発するきっかけとなりました。
問8	<b>答え</b> <b>太陽</b>	平塚らいてうが『青鞥』創刊号に寄せた宣言文で、「元始、女性は実に太陽であった。真実の人であった。今は、女性は月である」と述べました。これは、古代には女性が自由な存在であったことを示し、失われた権利を取り戻そうとする決意を表しています。
問9	<b>答え</b> <b>ウィルソン</b>	アメリカ大統領のウィルソンは、戦後のパリ講和会議で国際連盟の設立を強く提唱しました。平和な世界秩序を目指し、「十四か条の平和原則」などを掲げて外交を主導しました。
問10	<b>答え</b> <b>普通選挙法</b>	1925年に制定された普通選挙法により、それまであった「一定額以上の納税」という条件が撤廃されました。これにより、満25歳以上のすべての日本男子が衆議院議員の選挙権を持つようになりました。しかし、同時に治安維持法が成立し、自由な政治活動が制限される側面もありました。
問11	<b>答え</b> <b>日英同盟</b>	この同盟は長らく日本外交の柱でしたが、ワシントン会議でアメリカが日本の力を抑えたいと考えたことや、イギリスがアメリカとの関係を重視したことで、四カ国条約の締結を機に1923年までに解消されることとなりました。
問12	<b>答え</b> <b>アメリカ</b>	日本は当初、アメリカからの要請を受けて軍隊を派遣しました。日本は広大な地域に多大な兵力を送り込みましたが、アメリカは日本単独の影響力が強まることを警戒し、限られた兵力の派遣にとどめました。結果として、シベリア出兵は目的を達せないまま、日本軍にとって大きな損失を出すこととなりました。
問13	<b>答え</b> <b>第一次護憲運動</b>	1912年、陸軍が内閣を崩壊させたことに反発し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲政擁護」を訴える運動を開始しました。民衆もこれに共鳴し、大規模なデモが行われました。結果として、藩閥の指導者であった桂太郎の内閣は退陣を余儀なくされ、政党政治の重要性が改めて強調されることとなりました。
問14	<b>答え</b> <b>国際連盟</b>	アメリカ大統領ウィルソンの提唱により、1920年に設立されました。国際的な紛争を対話で解決し、集団安全保障を目指す史上初の常設組織です。
問15	<b>答え</b> <b>原敬</b>	立憲政友会の総裁であった原敬は、陸海軍と外務大臣を除き、すべて政党員で閣僚を固めた日本初の本格的な政党内閣を誕生させました。貴族院や軍部ではなく、衆議院を基盤とした政治運営を行ったため、当時としては画期的でした。
問16	<b>答え</b> <b>桂太郎</b>	桂太郎は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。3度目の内閣成立時、憲法に基づかない政治姿勢に反対する民衆が激しく反発し、第一次護憲運動が勃発しました。
問17	<b>答え</b> <b>五・四運動</b>	1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。これは中国のナショナリズムを大きく刺激し、近代中国の歴史における重要な転換点となりました。
問18	<b>答え</b> <b>ウィルソン</b>	アメリカ大統領ウィルソンは、各民族が他国に支配されることなく、自分たちの政府や政治形態を自由に決める権利があるという「民族自決」の原則を提唱しました。
問19	<b>答え</b> <b>日英同盟</b>	1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を根拠にイギリス側として参戦しました。日本は中国の山東省にあったドイツの拠点などを攻撃し、権益を引き継ぎました。また、混乱に乗じて中国に対して「二十一か条の要求」を行い、中国国内の政治や経済への影響力を強めようとした。
問20	<b>答え</b> <b>大正デモクラシー</b>	「大正デモクラシー」は、政治面では普通選挙運動や政党政治の展開、社会面では労働運動や女性解放運動、文化面では新しい芸術や教育のあり方を求める広範な動きの総称です。国民が自らの政治的権利や自由を主張し、封建的な慣習に異議を唱えるようになりました。
問21	<b>答え</b> <b>インド</b>	インドでは、ガンディーが指導者となり、武力を使わずに抵抗する「非暴力・不服従運動」を展開しました。イギリス製品を不買したり、塩の製造を禁止する法に抗議したりして、平和的な手段で独立と自治を求めました。